

令和6年度2学年
学習の指針（シラバス）



流山市立おおぐろの森中学校

学習の指針 (シラバス)

教科名	国語	実施学年	2年	週時数	4時間
-----	----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・国語に対する関心を深め、進んで表現したり理解したりできる。
- ・自分の考えを深め、目的や場所に応じ筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりすることができる。
- ・自分の考えを深め、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができる。
- ・目的に応じて様々な文章を的確に読み取り、理解することができる。
- ・表現と理解に役立てるための、漢字や文法等について理解し、知識を身につけ、正しく整った文字を書くことができる。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい	備考	評価	
第1 学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ●話す聞く ・質問する力をつける 	<ul style="list-style-type: none"> ・より良い質問について知る。 ・情報と情報との関係を整理して捉える。 	57時間	プリント 作文 定期テスト	
		<ul style="list-style-type: none"> ●詩 ・虹の足 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩歌の技法について知る。 ・表現技法を用いて、自分で詩歌を作成する。 ・表現に注目して、歌の情景を捉える。 ・根拠を持って、自分の意見を伝える。 			短歌 定期テスト
	5	<ul style="list-style-type: none"> ●小説 タオル 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情、行動の変化を読み取る。 			感想文 プリント 小テスト 定期テスト 作品
		<ul style="list-style-type: none"> ●言語 ・活用のない自立語 ・活用のある自立語 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立語の活用の有無を理解する。 			
		<ul style="list-style-type: none"> ●言語 まちがえやすい漢字 	<ul style="list-style-type: none"> ・似た漢字やまちがえやすい漢字について理解を深める。 			
		<ul style="list-style-type: none"> ●説明 ・日本の花火の楽しみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真と言葉を組みあわせて説明することの効果について考える。 ・文章の段落の構成を考える。 			
	6	<ul style="list-style-type: none"> ●短歌 ・短歌の味わい 	<ul style="list-style-type: none"> ・選んだ短歌について、読み取った情景や、感じたことを明確にして鑑賞文を書く。 			
		<ul style="list-style-type: none"> ●言語 ・敬語 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な言葉遣い、表現を学ぶ。 			
	7	<ul style="list-style-type: none"> ●書く 構成を明確に手紙を書く 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に対して適切に言葉を選ぶ。書く内容を整理し、自分の考えをまとめる。 			
		<ul style="list-style-type: none"> ●小説 ・夏の葬列 	<ul style="list-style-type: none"> ・小説の構造を学び、作品の展開を捉える。 ・戦争の悲惨さについて知る。 			
		<ul style="list-style-type: none"> ●毛筆 	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の筆遣いについて学ぶ。 			
	8					
第	9	<ul style="list-style-type: none"> ●言語 ・話し言葉と書き言葉 ・漢字の成り立ち 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の違いを捉える。 ・漢字の成り立ちについての理解を深める。 	53時間	感想文 プリント 小テスト 定期テスト	

2 学 期	10	<ul style="list-style-type: none"> ●説明 ・水の山 富士山 	<ul style="list-style-type: none"> ・段落と段落をつないでいる言葉に注意して、文章の構成や展開を整理する。 ・主張に含まれる事実と推測を分けて読み取る。 ・筆者の述べる事実と主張の関係を捉える。 		作品 音読テスト 百人一首
	11	<ul style="list-style-type: none"> ●古文、漢文 ・敦盛の最期 ・随筆の味わい ・二千五百年前からのメッセージ 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典を学び、価値観の違いに触れる。 ・文語のきまりを知り、古文を音読する。 ・訓読の仕方について理解し、音読して漢文独特のリズムを味わう。 		
	11	<ul style="list-style-type: none"> ●説明 ・紙の建築 	<ul style="list-style-type: none"> ・事実と意見を区別しながら本文を読み、取り上げられている具体例の役割を考えながら読む。 		
	12	<ul style="list-style-type: none"> ●書く ・根拠をもとに意見文を書く 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な考え方がある問題について根拠をもとに推論して考える。考えの理由づけを示して意見文を書く。 		
	12	<ul style="list-style-type: none"> ●評論 ・ガイアの知性 ・学ぶ力 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の「述べ方」や表現の工夫に着目し、筆者の主張を捉える。 		
第 3 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> ●読書 夏目漱石『坊ちゃん』 	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国を代表する作家とその作品について触れ、近代作品を読む。 	30時間	百人一首 プリント ノート 定期テスト 作品
	1	<ul style="list-style-type: none"> ●言語 漢字の多様性・同音の漢字 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の多様性や同音の漢字について理解を深める。 		
	2	<ul style="list-style-type: none"> ●詩歌 ・小倉百人一首 	<ul style="list-style-type: none"> ・百人一首を通して日本の文化に触れる。 		
	3	<ul style="list-style-type: none"> ●毛筆 	<ul style="list-style-type: none"> ・小筆の扱い方を学ぶ。 		
	1	<ul style="list-style-type: none"> ●小説 ・走れメロス 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考え方を読み取り、自分のものの見方や考え方を広げる。 		
2	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーチ 観点を明確にして伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報を整理して関係を理解し、適切に活用して課題を解決する。図表やグラフ、写真などを用いて、利き手にわかりやすく伝える。 			
3	<ul style="list-style-type: none"> ●言語 ・助詞・助動詞 	<ul style="list-style-type: none"> ・助詞・助動詞の効果について理解する。 			

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識及び技能	・表現と理解に役立てるための、漢字や文法等について理解し、知識を身につけているかを、定期テストの漢字や文法問題で判断します。言語に関する小テストもここに含む。	☆漢字テスト ☆文法テスト ☆定期テスト
思考力・判断・表現	・目的や場所に応じ、筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりしているかを、授業時の発言の量や内容で判断する。聞き取りテストや、「話す」の授業、授業時の発言内容も含む。 ・目的に応じて、様々な文章を的確に読み取り、理解しているかを主に定期テストから判断する。 ・自分の考えを深め、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に、指定された文字数で、文章を書くことができる。問題や「書く」授業、プリントやノートへ書いたもので判断する。夏休みの課題、テストの結果も含む	☆スピーチテスト ☆作文 ☆提出作品 ☆定期テスト ☆単元テスト ☆発表
主体的に学習に取り組む態度	・自分で課題を見つけ、調べたり質問したりして、学習内容の理解に努めている。	授業中への取り組み ☆振り返り

☆オクリンク・Teamsによる授業参加や課題の提出も評価の対象とします。

4 家庭学習について

- ・長期休業中は自由課題(作文、感想文、書き初め等)を出します。必要に応じて提出してください。
- ・読み物教材は繰り返し読むことで、読解が深まります。
- ・朗読テスト、スピーチテスト、暗誦テストについては、家庭で繰り返し練習しましょう。

5 教材等について

- ・教科書:伝え合う言葉2(教育出版)
- ・副教材:浜島書店『国語便覧』、明治図書『よくわかる国語の学習2』、中学『国文法のドリル』

学習の指針（シラバス）

教科名	社会	実施学年	2年	週時数	3時間
-----	----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・地理的・歴史的事象に関心を持ち、自ら興味を持って主体的に学ぶことができる。
- ・地理的・歴史的事象について、資料から読み取ったことを基に思考し、自分の考えを表現することができる。
- ・仲間と対話しながら、課題を解決することができる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4	〔地理〕 14時間 第3編 日本のさまざまな地域 ●1章 地域調査の手法 ●2章 日本の地域的特色と地域区分	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の資源・エネルギー消費について、世界的視野から現状をとらえ、理解できる。 ・日本産業の特色を農林水産業、工業、商業・サービス業の3つの分野からとらえることを通して、それぞれの産業が抱える課題について考察できる。 	4時間 10時間	期末テスト 単元テスト ノート ワーク 振り返り
	5				
	6	〔歴史〕 15時間 ●4章 近世の日本 ・1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 ・2節 江戸幕府の成立と対外政策	<ul style="list-style-type: none"> ・西欧で変化が生じ、それがどのような変化を日本に与えたのかを捉え、日本という国家の変容を具体的に考察できる。 ・江戸幕府の成立から、幕府の支配の仕組みや政治の動きを流れとして理解できる。 	9時間 6時間	
	7	〔地理〕 10時間 ●3章 日本の諸地域 ・1節 九州地方 ・2節 中国・四国地方	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の各地域を大観し、地域ごとに気候や風土に基づく特色をまとめ、理解できる。 ・地域の特色ある事象を、ほかの事象と関連付けて考察できる。 	5時間 5時間	
	9	〔歴史〕 10時間 ●4章 近世の日本 ・3節 産業の発達と幕府政治の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・農業などの諸産業や都市・交通網の発達、また様々な改革の動きについて、資料を基に考察できる。 	10時間	中間テスト 単元テスト ノート ワーク 振り返り
	10	〔地理〕 16時間 ●3章 日本の諸地域 ・3節 近畿地方 ・4節 中部地方 ・5節 関東地方	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の各地域を大観し、地域ごとに気候や風土に基づく特色をまとめ、理解できる。 ・地域の特色ある事象を、ほかの事象と関連付けて考察できる。 	5時間 5時間 6時間	

第2学期	11	<p>〔歴史〕 13時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ●5章 開国と近代日本の歩み ・1節 欧米における近代化の進展 ・2節 欧米の進出と日本の開国 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命による欧米の発達・アジアへの侵略と、日本の開国の関連性について考察できる。 	7時間 6時間	期末テスト 単元テスト ノート ワーク 振り返り
	12	<p>〔地理〕 15時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ●3章 日本の諸地域 ・6節 東北地方 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の各地域を大観し、地域ごとに気候や風土に基づく特色をまとめ、理解できる。 ・地域の特色ある事象を、ほかの事象と関連付けて考察できる。 	5時間	
第3学期	1	<ul style="list-style-type: none"> ・7節 北海道地方 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の課題を、「世界や日本のさまざまな地域」に見られた課題と比較し、見通しをもって主体的に追究する。 	5時間	学年末テスト 単元テスト ノート ワーク 振り返り
	2	<ul style="list-style-type: none"> ●4章 地域の在り方 		5時間	
	3	<p>〔歴史〕 12時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ●5章 開国と近代日本の歩み ・3節 明治維新 	<ul style="list-style-type: none"> ・明治政府の支配の仕組みや諸改革について、江戸時代と比較しながら理解できる。 	12時間	

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
社会的事象についての知識・技能	社会的事象の知識及び技能の習得状況と、知識及び技能を関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元テスト
社会的な思考・表現・判断	社会的事象の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・ノート ・振り返り
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象の知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・ノート ・振り返り ・ワーク

4 学習の進め方について

- ・ノートでプリントをまとめて自分の学びを進めてください。
- ・ワークを用いて知識を定着させていきます。

5 教材等について

- ・教科書：東京書籍『新しい社会 地理』・『新しい社会 歴史』・帝国書院『中学生社会科地図』
- ・副教材：浜島書店「学び考える歴史」
学宝社「学習整理 地理2」・「学習整理 歴史2・3」
- ・その他：ノート・プリント（B5またはB4サイズで配付します）
※ノートはB5～A4サイズまでで各自で使いやすいものを用意してください。
リングノートやルーズリーフ＋バインダーでも構いません。
歴史と地理で分けて用意してください。

学習の指針（シラバス）

教科名	数学	実施学年	2年	週時数	3時間
-----	----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・身近なものから主体的に数学的な事項を見いだすことができる。
- ・学んだ知識を活用・思考し、課題に一生懸命取り組み、自分の考えを数学的用語を用いて表現できる。
- ・課題解決に向け主体的に仲間と協働できる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4	●1章 式の計算 ・1節 式の計算	<ul style="list-style-type: none"> ・整式の加法, 減法, 単項式の乗法, 除法の計算ができる。 ・数量関係について文字式を用いて表現したり, 説明したりできる。 	15時間	定期テスト 小テスト 授業プリント
	5	・2節 文字式の利用			
	6	●2章 連立方程式 ・1節 連立方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・二元一次方程式とその解の意味を理解する。 ・目的により式を変形できる。連立方程式を理解し, それを用いることができる。 	12時間	
	7	・2節 連立方程式の利用			
第2学期	9	●3章 1次関数 ・1節 1次関数	<ul style="list-style-type: none"> ・事象の中に1次関数としてとらえられるものがあることを知る。 ・1次関数の値の変化やグラフの特徴を捉え, 式を求めたりグラフをかくことができる。 	19時間	定期テスト 小テスト 授業プリント
	10	・2節 1次関数の性質と調べ方			
		・3節 2元1次方程式と1次関数			
	11	・4節 1次関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・値の変化の割合とグラフの特徴を理解し, 利用できる。 	15時間	
		●4章 平行と合同	<ul style="list-style-type: none"> ・証明の意義と方法を理解する。 		
		・1節 説明のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・平行線や角の性質を確認し, 図形の性質を確かめられる。 		
	12	・2節 平行線と角	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の合同条件を理解し, 図形の性質を論理的に確かめられる。 	21時間	
		・3節 合同な図形			
●5章 図形の性質と証明 ・1節 三角形		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な図形の性質を見だし, 合同などを利用し確かめられる。 			

第3学期	1	・ 2節 四角形	<ul style="list-style-type: none"> 特別な平行四辺形について理解を深める。 平行線と面積の関係を理解する。 	9時間	定期テスト 小テスト 授業プリント
	2	● 6章 確率 ・ 1節 確率	<ul style="list-style-type: none"> 起こりうる場合を整理し、求めることができる。 		
	3	・ 2節 確率による説明 ● 7章 データを比較して判断しよう ・ 1節 四分位範囲と箱ひげ図	<ul style="list-style-type: none"> ことからの起こりやすさを、確率をもとにして説明することができる。 箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解する。 データを整理して箱ひげ図に表すことができる。 箱ひげ図と四分位範囲の特徴を理解する。 	5時間	

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な概念、原理、法則、用語、記号などを確実に理解し、基本的な知識を身につけている。 数量の関係について、数学的に表現や処理をすることができる。 テストでは、上記の問題を解くことができる。 	定期テスト 小テスト 授業プリント
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 事象を数学的に捉え、論理的に考えようとする。 既習事項を元に、発展的に考えたりすることができる。 授業中に論理的に説明・発表などを取り組もうとする。 テストでは、上記の問題を解くことができる。 	定期テスト 小テスト 授業プリント
主体的に学習に取り組む姿勢	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容に興味を持ち、自ら課題を見出し取り組むことができる。 	授業プリント

【観点ごとの評価方法】

1 「主体的に学習に取り組む態度」

授業プリント、学習感想

① 「授業プリント」…授業内で配付するプリントです。この中にある「主体的に学習に取り組む態度」に関する問題（主に学習素材）で評価します。（A・B・Cの三段階評価）

② 「学習感想」…授業の最後に「振り返り」を書きます。これに関しても、A・B・Cの三段階評価をしていきます。詳細に関しては、最初の授業で行うガイダンスで説明します。

2 「知識・技能」, 「思考・判断・表現」

定期テスト、小テスト、授業プリントで評価する。

- ① 「定期テスト」…1学期1回, 2学期2回, 3学期1回の全5回実施する。
- ② 「単元テスト・小テスト」…単元や節ごとに実施します。
- ③ 「授業プリント」…授業内で配付するプリントです。この中にある「主体的に学習に取り組む態度」に関する問題（主に学習素材）で評価します。(A・B・Cの三段階評価)

3 家庭学習（予習, 復習, 提出物等）について

- ・復習が大切な教科です。授業で学んだ内容のワークを進めたり、学習プリントを見直したりしましょう。復習を行うことで、知識、技能の定着に繋がります。
- ・ワークは定期的に提出します。授業や家庭学習で取り組みましょう。
- ・授業用ファイルを用意し、毎時間配付されたプリントを確実に保管していくようにしましょう。

4 教材等について

- ・教科書：教科書→東京書籍『新しい数学2』
- ・副教材：副教材→正進社『数学の学習ノート2年』
- ・その他：ファイル1冊、ノート、コンパス、三角定規、分度器、を授業のときに準備します。

学習の指針（シラバス）

教科名	理科	実施学年	2年	週時数	4時間
-----	----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・仲間と協力して楽しく学び合いながら、自然の事物・現象について進んで関わり調べられる生徒・
- ・自然の事物・現象から課題を見出すことができる生徒
- ・先行経験や既習事項を元にして自然の事物・現象について科学的に思考できる生徒
- ・基本操作を身につけ、実験、観察を通して自然の事物・現象を調べられる生徒

2 学習計画及び評価方法

(単元1・単元2・単元4)

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4	●単元1 化学変化と原子分子 ・1章 物質の成り立ち	・物質を分解する実験を行い、元の物質の成分を推定し、物質が原子や分子から構成されていることを理解する。	30時間	[年間] ワークシート チームスの課題 パフォーマンス テスト 授業の様子 期末試験
	5	・2章 いろいろな化学変化	・物質を化合させる実験を行い、化学変化が原子や分子のモデルで説明でき、化学変化が反応式で表されることを理解する。		
	6	・3章 化学変化と熱の出入り	・有機物の燃焼などを通して化学反応の際の発熱を理解する。また、吸熱する場合があることも知る		
	7				
第2学期	9	●単元1 化学変化と原子分子 ・4章 化学変化と物質の質量	・化学変化の前後における質量が保存されることを、実験を通して見出す。	5時間	中間試験 期末試験
	10	●単元2 生物の体のつくりとはたらき ・1章 生物をつくる細胞	・生物の体が細胞からできていること、植物と動物の細胞のつくりの特徴の違いを観察を通して理解する。	5時間	
	11	・2章 植物の体のつくりとはたらき ・3章 動物の体のつくりとはたらき	・葉・茎・根のつくりと働きについて実験・観察を通して理解する ・消化や呼吸、血液の循環、排せつ、骨格、筋肉、感覚器官、神経系などの各器官のつくりを学び、各器官を関連付けて捉える。	30時間	
	12	●単元4 気象のしくみと天気の変化 ・1章 気象観測	・実際に気象観測を行い、観測方法や記録の仕方を身につけ、各気象要素の変化と天気との関連性を見いだす。	5時間	

第3学期	1	● 単元4 気象のしくみと天気の変化	・実際に気象観測を行い、観測方法や記録の仕方を身につけ、各気象要素の変化と天気との関連性を見いだす。	30時間	学年末試験
	2	・2章 気圧と風	・気圧と風との関連を見いだし、天気図から風を読み取る。		
	3	・3章 天気の変化	・水蒸気量と湿度の関係を見いだし、雲の発生、前線の通過に伴う天気の変化を理解する。		
		・4章 日本の気象	・日本の天気の特徴を天気図、気団、高低気圧と関連付けて理解する。		

(単元3)

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考(時間)	評価
第1学期	4	● 単元3 電流とその利用 ・1章 電流と回路	・実際に回路をつくり、各点の電流や電圧の規則性を見いだす。 ・電圧、電流、抵抗の間の関係を見いだす。	10時間	〔年間〕 ワークシート チームスの課題 パフォーマンステスト 授業の様子 期末試験
	5				
	6				
	7				
第2学期	9	● 単元3 電流とその利用 ・2章 電流と磁界	・電流を流すことにより磁界が発生すること、磁界と電流によって力が発生すること、磁界の変化によって電流が発生することを見いだす。	13時間	中間試験 期末試験
	10				
	11				
	12				
第3学期	1	● 単元3 電流とその利用 ・3章 電流の正体	・静電気が空間を隔てて力が働くこと、静電気と電流に関係があることを見いだす。 ・電流は、電子の流れであることを知る。	8時間	学期末試験
	2				
	3				

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的に探究するために必要な観察・実験・記録に関する基礎技能を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストの知識・技能の問題 ・ワークシート実験観察の記録 ・実験器具の扱い方や基本操作 ・パフォーマンステスト ・小テスト（単元テスト） など
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見出し、見通しをもって観察・実験を行い事象や結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究している。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストの思考の問題 ・ワークシートでの考察・表現 ・小テスト（単元テスト） ・授業での発言に見られる考察・表現 など
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりして、科学的に探究しようとしている。（粘り強く取り組んだり、学習を調整しようとしていたりしている。）	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・提出物への取り組み

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・（予習）必要ありません。新鮮な気持ちで実験をして、新しい発見をしてほしいです。
- ・（復習）問題演習用のノートを用意してください。授業で習った範囲を定期的に復習することで、学力が定着します。
- ・（提出物）ワーク等の提出は基本的にありませんが、授業内でノートやプリントを確認します。

5 教材等について

- ・教科書：大日本図書「理科の世界 2年」
- ・副教材：正進社「理科の完全学習 2年」

学習の指針（シラバス）

教科名	音楽科	実施学年	2年	週時数	1時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び、音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けることができる。
- ・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽評面をしながらよさや美しさを味わって聴くことができる。
- ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しむができる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4	曲想と曲の構成を感じ取って表現を工夫しよう 全校合唱曲 「校歌」	・歌詞の内容や、音の重なり方の違いなどから曲想の変化を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	2	評価カード 観察評価 歌唱テスト 歌唱プリント
	5	拍にのって、響きのある声で合唱しよう 「夢の世界を」	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容とのかかわりについて理解する。 ・楽譜の中にある基本的な音符や記号を知り、表現に生かす。	2	
	6	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう 「フーガ短調」	・曲の構成と曲想とのかかわりを理解して、そのよさや美しさ、パイプオルガンの響きを味わいながら聴き、根拠をもって批評する。 ・旋律が次々と追いかけるようにして重なり合っていく様子を聴き取る。	2	鑑賞プリント 観察評価
	7	曲想と詩の内容とのかかわり理解して、表現工夫しよう 「夏の思い出」 合唱コンクール曲選曲	・歌詞の内容や曲想を味わい、言葉と旋律のかかわり理解し、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	3	歌唱テスト 観察評価 歌唱プリント

第2学期	9	・カトカトーンを使い、メロディをつくろう	・音楽の構造を理解し、必要な課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付け創作する。	2	創作プリント 観察評価
	9 10	パートの役割を理解し、曲想を生かして、表現を工夫しよう 合唱コンクール学年課題曲 合唱コンクール学級自由曲	・歌詞の内容や曲想を味わい、音の重なり方やパートの役割を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して合唱する。 ・作品のイメージをふくらませながら表現を工夫して、クラス力で合唱曲を仕上げる。 ・さまざまな合唱を聴き合って、表現を高め合う。	6	観察評価 歌唱プリント 歌唱テスト
	11	曲の構成を理解して、その魅力を味わおう 「交響曲第5番 八短調」	・曲想と音楽の構造のかかわりを理解して、そのよさや美しさ、オーケストラの響きを味わいながら聴き、根拠をもつ	4	鑑賞プリント

	12	3年生を送る会学年合唱曲 卒業式送別の歌 (3月まで)	<ul style="list-style-type: none"> ・て批評する。 ・モチーフ(動機)がどのように使われているのかを探りながら「ソナタ形式」のしくみを理解し、それが西洋音楽の特徴であることを知る。 	4	
第3学期	1	オペラや歌舞伎に親しみ、 その魅力を味わおう 「アイダ」 歌舞伎「勧進帳」 日本の伝統楽器に親しもう	<ul style="list-style-type: none"> ・オペラや歌舞伎の音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、曲想などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。 ・箏の音色を味わいながら演奏する。 	4	鑑賞プリント
	2	仲間とともに表情豊かに合唱しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や曲想を味わい、パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。 	5	観察評価 技能テスト 歌唱テスト
	3	3年生を送る会学年合唱曲 卒業式送別の歌	<ul style="list-style-type: none"> ・「3年生を送る会」「卒業式」に向けて、さまざまな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てる。 ・卒業生への感謝と尊敬の思いを込めて、1年間のまとめとして歌う。 		

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆観察評価 パート練習・全体練習 ☆授業プリント ☆技能テスト
思考・判断・表現	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもち、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたり、批評文を書いたりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☆観察評価 パート練習・全体練習 ☆授業プリント ☆技能テスト
主体的に学習に取り組む態度	<p>音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。また、学んだ内容を自分の生き方や考え方に生かそうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☆観察評価 パート練習・全体練習 ☆授業プリント ☆技能テスト ☆自己評価カード

☆印の項目は、授業を欠席した場合、オンラインでの演奏や、オクリンクでのワークシート提出によりを評価に含めることができます。

4 家庭学習(予習、復習、提出物等)について

- ・楽譜が配られたら、自分のパートの部分に、ラインマーカーで印をつけておきましょう。
- ・楽譜に書かれている音楽記号に○をつけましょう。
- ・新曲に取り組む際は、音取り係はパート練習で困らないように、担当しているパートの音取りをしておきましょう。
- ・技能テストを行います。人前で、一人でも、堂々と演奏できるように練習をしておきましょう。
- ・授業プリント等の提出物は、必ず提出しましょう。

5 教材等について

- ・教科書：中学生の音楽2, 3年上、中学生の器楽（教育芸術社）＝音楽室保管ができます
- ・その他：音楽ファイル

学習の指針（シラバス）

教科名	美術科	実施学年	2年	週時数	1時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1 学習の目標（校内の生徒教員・来校者に発信しよう）

- ・対象や事象を捉える造形的な視点を理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができる。
- ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の動きなどについて独創的、創造的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
- ・主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していくことができる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4	オリエンテーション デッサン（手）	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の学習内容を知る。 ・鉛筆による手のデッサン 	2時間	自己評価カード 作品
	5	鑑賞 技法の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・作家さんの作品を鑑賞する。 ・透視図法を学習し、遠近法を理解する。 	1時間 2時間	鑑賞プリント ワークシート
		風景が語るもの おおぐろ中の魅力を伝える	<ul style="list-style-type: none"> ・光を意識して、美しい陰影を感じ取り表現できるように、美的感覚を働かせ洗練された表現の構想を練る。 	8時間	ワークシート 制作の様子
	6	ポスター制作	<ul style="list-style-type: none"> ・画材の特性を生かし、表現方法を工夫し、見通しを持って制作する。 ・制作の順序を考え、見通しを持って制作をする。 	1時間	ワークシート 夏休み自由課題 ポスター
第2学期	9	風景画（続き）	<ul style="list-style-type: none"> ・用具の特性を生かし、意図に応じた表現ができる。 	4時間	作品 制作の様子
	10	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・自他の作品を相互に鑑賞し、作品のよさや面白さ、工夫などを感じ取り、作品の見方や感じ方を広げる。 	1時間	鑑賞プリント
		場と形の響き合い おおぐろ中にベンチを置くとしたら…	<ul style="list-style-type: none"> ・使う目的や使用者の気持ち、ユーモア等からテーマを生み出し、使いやすさや美しさなど調和のとれたデザインの構想を練る。 	7時間	ワークシート 制作の様子 作品 オクリンクや Teams 提出物
	12	作品発表会	<ul style="list-style-type: none"> ・道具を安全に正しく使用し、素材の特性を考え、手順や順序を理解し、見通しを持って制作する。 ・自他の作品を相互に鑑賞し、作品のよさや面白さ、工夫などを感じ取り、作品の見方や感じ方を広げる。 	1時間	鑑賞プリント

第3学期	1	木彫 思いをしまう小箱	・文様や木の彫り方、漆塗について学び日本の文化に触れながらオリジナルの小箱を木彫で心豊かに表現する。	6時間	ワークシート アイデアスケッチ 作品 制作の様子
	2	鑑賞	・自他の作品を相互に鑑賞し、作品のよさや面白さ、工夫などを感じ取り、作品の見方や感じ方を広げる。	1時間	鑑賞プリント
	3	伝統文化鑑賞	・伝統工芸のよさや美しさを感じ取り、美術文化の見方や感じ方を広げる。	1時間	鑑賞プリント

※授業数や行事の関係で学習内容が前後することがあります。

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	形や色彩、材料となる素材、光が感情にもたらす効果や、用具や材料の取り扱い方や特性を理解し、意図に応じて自分の表現法を追求し、創造的に表すことができているかを、提出作品より判断する。	提出作品 制作の様子 自己評価カード
思考・判断・表現	感じ取ったことや考えたことを基に、創造的な工夫をし、課題に応じた心豊かに表現の構想を練ることができているかを、鑑賞プリントや提出作品などから判断する。	アイデアスケッチ 鑑賞プリント 制作の様子 提出作品 自己評価カード
主体的に学習に取り組む姿勢	美術的な知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について家庭での技能の練習や、調べ学習などを通じ、試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかを提出物などから判断する。	ワークシート 鑑賞プリント 提出作品 制作の様子 自己評価カード

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・家庭でも日頃から美術作品について調べてみると表現の幅が広がるでしょう。
- ・提出物は、期限内に提出できるようにしましょう。

5 教材等について

- ・教科書：美術 2・3（開隆堂）、レタリングの本
- ・副教材：美術ファイル
- ・その他：ポスターカラー、タブレット

6 ICT

- ・タブレットを使用した授業を行います。

学習の指針（シラバス）

教科名	保健体育（男子）	実施学年	2年	週時数	3時間
-----	----------	------	----	-----	-----

1 学習の目標

〔体育分野〕

- ・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。
- ・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けることができる。
- ・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をすることができる。

〔保健分野〕

- ・個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。
- ・健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができる。
- ・生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養うことができる。

2 学習計画及び評価方法等

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考	評価
第1学期	4	●体づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、心と体をほぐしたり、体の動きを高める方法などを理解するとともに、目的に適した運動を身に付け、組み合わせたりすることができる。 ・技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、技をよりよく行うことができる。 ・記録の向上や競争を楽しみ、基本的な動きや効率の良い動きを身に付けることができる。 ・記録の向上に向けて、基本的な動きを身に付けることができる。災害時などどのように対応するとよいか、安全面の学習をすることができる。 ・基本的なボール操作を身に付け、練習やゲームで使い分けができる。 ・パス、ドリブル、シュートなどの技能を身に付け、様々な攻め方や組織的な守り方ができる。 ・互いに協力し励まし合いながら進んで練習や競技を行うことができる。 		技能テスト 学習カード 定期テスト 学習への取り組み
	5	●器械運動			
	6	●陸上競技			
	7	●水泳 ●バスケットボール			
2学期	9	●ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージをとらえた表現や踊りでの交流を通して、仲間とのコミュニケーションを豊かにする。 ・積極的に取り組み、仲間の良さを認め合うことなどに意欲を持ち健康や安全に気を配ることができる。 ・基礎的、基本的な技能を身に付け、速い動きの攻め方や相手を決めて守り方が素早くできる。 ・課題や作戦などについて考え、練習に生かしていくことができる。 ・チーム内の役割分担をし、組織的な攻め方や守り方ができる。 		技能テスト 学習カード 定期テスト 学習への取り組み
	10	●テーパーボール			

	11 12	●柔道	<ul style="list-style-type: none"> ・技ができる楽しさや喜びを味わい、武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開することができる。 		
3 学期	1 2 3	●長距離走 ●バレーボール ●ラグビー	<ul style="list-style-type: none"> ・記録の向上に関心を持ち、更に向上をしようする態度をとることができる。 ・基本的なボール操作を身につけ、練習やゲームで使い分けができる。 ・サーブ、アタック、レシーブなどの技能を身につけ、様々な攻め方や組織的な守り方ができる。 ・互いに協力し励まし合いながら進んで練習や競技を行うことができる。 ・基本的なボール操作や、パスやランプレーとボールを持たないときの動きによって、ラグビーのゲームを展開することができる。 ・ルールや作戦を工夫して、ゲームの型に応じた簡単な作戦を立てることができる。 ・互いに協力し励まし合いながら進んで練習や競技を行うことができる。 		技能テスト 学習カード 定期テスト 学習への取り組み

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
運動や健康・安全への 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの測定方法を理解し、正確に実施したり、測定したりすることができる。 ・リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができる。 ・チームや自分の能力に適した課題の練習やゲームを通して集団的スキルや個人スキルを高めることができる。 ・体力測定の測定方法と結果の活用について理解することができる。 ・練習の仕方や場づくりの方法、練習計画の立て方、技のできばえの確かめ方を知ることができる。 ・競技の運営やルール・審判の方法を知ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆技能テスト ☆学習の取り組み ☆定期テスト ☆学習の取り組み
運動や健康・安全についての 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・体力測定の結果を知り、日常生活において運動の生かし方を整理することができる。 ・練習の進め方や場づくりの方法を選んだり、技のできばえを確かめたりすることができる。 ・ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆学習の取り組み ☆学習カードの記述
主体的に学習に 取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・体力の意義と体力の高め方について関心をもち、進んで安全に学習に取り組もうとすることができる。 ・仲間と協力して教えあったり、練習の場を整えたり、補助しあったりして進んで運動に取り組むことができる。 ・ルールや作戦に応じて、勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わうことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆学習の取り組み ・見学、欠席 ・提出物 ・安全面

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・授業に応じて適宜学習カードの提出があります。

5 教材等について

- ・教科書→新版 中学校保健体育（大日本図書）
- ・副教材→保健体育ノート（大日本図書）、ファイル

学習の指針（シラバス）

教科名	保健体育（女子）	実施学年	2年	週時数	3時間
-----	----------	------	----	-----	-----

1 学習の目標

[体育分野]

- ・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。
- ・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けることができる。
- ・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をすることができる。

[保健分野]

- ・個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。
- ・健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができる。
- ・生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養うことができる。

2 学習計画及び評価方法等

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考	評価
第1学期	4	●体づくり	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、心と体をほぐしたり、体の動きを高める方法などを理解するとともに、目的に適した運動を身に付け、組み合わせることができる。		技能テスト 学習カード 定期テスト 学習への取り組み
	5	●陸上競技 ●バレーボール	・記録の向上や競争を楽しみ、基本的な動きや効率の良い動きを身に付けることができる。 ・基本的なボール操作を身に付け、練習やゲームで使い分けができる。 ・サーブ、アタック、レシーブなどの技能を身に付け、様々な攻め方や組織的な守り方ができる。 ・互いに協力し励まし合いながら進んで練習や競技を行うことができる。		
	6 7	●水泳 ●器械運動	・記録の向上に向けて、基本的な動きを身に付けることができる。災害時などどのように対応するとよいか、安全面の学習をすることができる。 ・技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、技をよりよく行うことができる。		
2学期	9 10	●ダンス ●柔道	・イメージをとらえた表現や踊りでの交流を通して、仲間とのコミュニケーションを豊かにする。 ・積極的に取り組み、仲間の良さを認め合うことなどに意欲を持ち健康や安全に気を配ることができる。 ・技ができる楽しさや喜びを味わい、柔道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開することができる。		技能テスト 学習カード 定期テスト 学習への取り組み

	11 12	●バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> 基本的なボール操作を身につけ、練習やゲームで使い分けができる。 パス、ドリブル、シュートなどの技能を身につけ、様々な攻め方や組織的な守り方ができる。 互いに協力し励まし合いながら進んで練習や競技を行うことができる。 		
3 学期	1	●パドミントン	<ul style="list-style-type: none"> ラリーを続け、ボール操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開できる。 基本的な技能を身に付け、ラリーやゲーム展開ができる。 		技能テスト 学習カード 定期テスト 学習への取り組み
	2	●長距離走	<ul style="list-style-type: none"> 記録の向上に関心を持ち、更に向上をしようとする態度をとることができる。 		
	3	●ティーボール	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的、基本的な技能を身につけ、速い動きの攻め方や相手を決めて守り方が素早くできる。 課題や作戦などについて考え、練習に生かしていくことができる。 チーム内の役割分担をし、組織的な攻め方や守り方ができる。 		

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
運動や健康・安全への 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 体力テストの測定方法を理解し、正確に実施したり、測定したりすることができる。 リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができる。 チームや自分の能力に適した課題の練習やゲームを通して集団的スキルや個人スキルを高めることができる。 体力測定の測定方法と結果の活用について理解することができる。 練習の仕方や場づくりの方法、練習計画の立て方、技のできばえの確かめ方を知ることができる。 競技の運営やルール・審判の方法を知ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆技能テスト ☆学習の取り組み ☆定期テスト ☆学習の取り組み
運動や健康・安全についての 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 体力測定の結果を知り、日常生活において運動の生かし方を整理することができる。 練習の進め方や場づくりの方法を選んだり、技のできばえを確かめたりすることができる。 ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆学習の取り組み ☆学習カードの記述
主体的に学習に 取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 体力の意義と体力の高め方について関心をもち、進んで安全に学習に取り組もうとすることができる。 仲間と協力して教えあったり、練習の場を整えたり、補助しあったりして進んで運動に取り組むことができる。 ルールや作戦に応じて、勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わうことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆学習の取り組み ・見学、欠席 ・提出物 ・安全面

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・授業に応じて適宜学習カードの提出があります。

5 教材等について

- ・教科書→新版 中学校保健体育（大日本図書）
- ・副教材→保健体育ノート（大日本図書）、ファイル

教科名	技術科	実施学年	2年	週時数	1時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・生活や社会で利用されている栽培の技術やエネルギー変換、情報の技術について基礎的な理解を図るとともに、それに係る技能を身につけ、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- ・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現することができる。
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を育てる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価資料
第1学期	4	●エネルギー変換に関する技術 ・わたしたちの生活とエネルギー変換 ・製作（ラジオ） ・電気エネルギーの利用	・どのようにエネルギーを利用してきたかを考え、エネルギーの利用のしくみや有効に活用する方法を考える。 ・正確に電気回路を組んだり、作品を製作したりすることができる。 ・電気エネルギーの利用方法や変換するしくみを理解する。 ・動力を効率よく伝えるしくみや、運動を変化させる方法を知る。	13時間	
	5 6				
第2学期	7	・動力の利用			
	9	・エネルギー変換の実際	・電気機器の構成や安全な利用方法を理解し、適切な保守点検ができる。	13時間	
	10 11 12	●情報に関する技術 ・計測・制御による問題解決	・計測・制御のプログラミングを利用した問題解決の手順を知る。 ・計測・制御を活用して生活を便利にする方法を話し合い、発表等ができる。		
第3学期	1 2 3	●生物育成に関する技術 ・栽培環境について ・1年間の振り返り	・様々な生物の育成に必要な環境づくりについて、考え、発表することができる。 ・1年間の学習を振り返り、学習したことを今後の生活に活かす意欲をもつことができる。	9時間	

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
主体的に学習に取り組む態度	生活や技術について関心を持ち、進んで学習しようとする態度を身につけているか、毎時間の学習に取り組む姿勢を観察や自己評価等から評価します。	・学習プリント ・学習への取り組み ・自己評価
思考・判断・表現	課題に対してどのように工夫して解決したか、見通しをもって製作することができたかを作品の内容、家庭での実践、学習プリント、自己評価等から評価します	・作品 ・学習プリント ・自己評価
技能・知識理解	生活や技術に関する基礎的な事項について理解し、知識を身につけて、製作した作品の技能を学習プリント、定期テスト、授業中の作業内容、自己評価等から評価します。	・作品 ・定期テスト ・学習プリント ・自己評価

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・日常生活で使用している様々な道具や機械に興味・関心を持ち、授業に臨むようにしてください。
- ・定期テスト前には予想問題が配付されます。計画的に学習を進めてください。

5 教材等について

- ・教科書：技術・家庭科 技術分野（開隆堂出版）
- ・副教材：ウッディキューブラジオ Bluetooth
はんだづけ評価基盤
プログラミング教材（toio）

学習の指針（シラバス）

教科名	家庭科	実施学年	2年	週時数	1時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

・衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得できる

・家庭の機能について、理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくできる（特に食の学習を通して）

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4	●健康と食生活 ・食事について ・生活のリズムと食事	・自分の食生活を見直す。 ・食事の役割と健康の食事について考える。	2時間	・ふり返しシート
	5	・栄養素のはたらきと食品 ・中学生に必要な栄養 ・食事の計画 (食品成分表 p142～145)	・自分の食生活を記録し、課題を見つける。 ・栄養素のはたらきと食品と栄養素の関係を知る。 ・中学生に必要な栄養と必要な食品群の概量を知る。	2時間	・6つの食品群ワークシート
	6	●調理をしよう 1 ・調理の計画 ・調理の基本・野菜の調理(きゅうりの切り方テスト)	・1日分の献立を立てる。 ・調理室の使い方を知る。 ・調理に必要な手順や時間を考え、調理計画を工夫する。	2時間	・献立表
	7	・魚の調理(鯖味噌煮) ・食育の授業(日本乳業協会)	・野菜の調理では季節の食材(きゅうり)で包丁の使い方を知り、いろいろな切り方ができる。 ・魚の調理上の性質を知り、鯖の調理ができる。 ・牛乳の理解を深める。	4時間	・調理実習 ・切り方技能テスト ・実習感想レポート ・定期テスト
第2学期	9	●食品の選択と保存 ・食品が口に入るまで ・生鮮食品の選び方 ・いろいろな加工食品 ・加工食品の表示	生鮮食品と加工食品の表示と良否の見分け方を知る。 ・生鮮食品と加工食品について新聞のチラシなどで市場調査を行う。	6時間	・食品添加物実験観察レポート
	10	・加工食品の選び方 ・保存のしかた ・食品の安全と情報	・身近な食品を選択するために必要な情報を、収集・整理し調理実習に活かす。 ・着色料の観察を通して、添加物の必要性を考えることができる。		
	11	●調理をしよう ・肉・野菜の調理(生姜焼き) ・お菓子をつくろう	・肉・野菜の調理上の性質を知り、エコクッキングの調理ができる。(炒め・蒸すなど) ・ケーキの基本を知り、カップケーキを作ることができる。	10時間	・エコクッキングなどレポート ・定期テスト
	12	・リンゴの皮むきテスト ・食育 出汁について(だしメーカーにんべんより)	・皮むきが安全にできる。 ・世界文化遺産となった和食を支える出汁について知る		

第3学期	1	●地域の食材と食文化 ・地域の食材と郷土料理 (ネギ・みりん) ・受け継がれる食文化	・地域の食文化の意義や歴史について理解し、日常食など家庭での調理に生かすことができる。 (ねぎま・ネギ炒め煮・スープ)	2時間	・ネギ・みりん 感想レポート
	2	・地域と世界へ目をむけて ●調理をしよう ・薄焼き卵をつくろう ・調理のまとめ	・薄焼き卵を上手に作れる。 ・簡単な調理ができる。	2時間	・調理のまとめ
	3	●ライフサイクルゲームⅢ	・ゲームを通して人生設計について考える。	2時間	
		●1年間のまとめ	・1年間を振り返ることができる。	1時間	・1年間の振り返り

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
技能・知識理解	課題解決のために必要な基礎的な技術が身についているかを作業内容、技能テストから評価します。基礎的な事項について理解し、知識を身につけているかを学習プリント・定期テスト・授業中の内容・自己評価から評価します。	・作品の内容 ・学習プリント ・定期テスト ・自己評価
思考・判断・表現	課題に対してどのように工夫して解決したか、見通しをもって作業することができたかを調理学習の内容・家庭での実践・学習プリント自己評価で評価します。	・作品 ・学習プリント ・自己評価
主体的に学習に取り組む態度	生活や技術について関心をもち、進んで学習しようとする態度を身につけているか、毎時間の学習に取り組む姿勢を観察や自己評価から評価します。	・学習プリント ・授業中の姿勢 ・自己評価

4 家庭学習について

- ・定期テスト前には予想問題が配布されます。

5 教材等について

- ・教科書：技術・家庭科 家庭分野（開隆堂出版）
- ・副教材：調理実習・実験の材料（きゅうり・リンゴ・鯖などや調味料）
- ・その他：

学習の指針（シラバス）

教科名	外国語	実施学年	2年	週時数	4時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・日常的な話題について、話の概要を聞き取ることができる。
- ・日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の概要をとらえることができる。
- ・日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。
- ・日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。
- ・日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を書くことができる。

2 学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	学習のねらい	時数	評価
第 1 学 期	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit 0: My Spring Vacation ・Unit 1: A Trip to Singapore ・Let's Talk 1 ホテルでのトラブル ・Let's Listen 1 機内放送 	<ul style="list-style-type: none"> ・思い出を伝えるために、これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを話すことができる。 ・旅行の楽しさと海外の文化や言語について考える。 ・休暇や週末の予定について、たずねたり伝えたりすることができる。 ・場面に応じて、苦情を言ったり、それに対して謝ったりすることができる。 ・機内放送を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 	46時間	<ul style="list-style-type: none"> ・期末テスト ・会話テスト ・パフォーマンステスト ・単元テスト
	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit 2: Food Travels around the World ・Let's Talk 2 ていねいなお願い ・Let's Listen 2 インタビュー 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や外国の料理を知り、食文化の歴史や変化について考える。 ・好きな食べ物やその理由について、紹介文を書くことができる。 ・場面や相手に応じて、ていねいに許可を求めたり、依頼したりすることができる。 ・インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ることができる。 		
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・Unit 3: My Future Job ・Let's Write 1 留守番電話のメッセージへの返信 ・Stage Activity 1 A Message to Myself in the Future ・Let's Read 1 History of Clocks ・Let's Listen 3 天気予報 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの社会を想像し、自分の将来像や夢について考える。 ・自分が体験したことや学んだことなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。 ・留守番電話のメッセージを聞いて内容を理解し、相手に返信メールを書くことができる。 ・好きなことや得意なことについて話し合い、自分に合うと思う仕事について書くことができる。 ・説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。 ・天気予報を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 		

	7月	<ul style="list-style-type: none"> Unit 4: Homestay in the United States Let's Write 2 ホームステイのお礼状 Let's Listen 4 電車の運行情報 	<ul style="list-style-type: none"> 日米の生活習慣や文化のちがいを知り、ともに暮らすヒントを考える。 習慣やマナーについて、たずねたり伝えたりすることができる。 お世話になった人に、手紙で感謝の気持ちを伝えることができる。 運行情報を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 		
第2学期	9月	<ul style="list-style-type: none"> Unit 5: Universal Design Let's Talk 3 電車の乗りかえ Let's Listen 5 留守番電話 	<ul style="list-style-type: none"> だれもが使いやすいものや、暮らしやすい社会について考える。 身近なもの・ことについて、使い方ややり方を説明したり、自分の考えを述べたりすることができる。 乗り物での行き方をたずねたり、答えたりすることができる。 留守番電話を聞き、主な内容を理解することができる。 	41 時間	<ul style="list-style-type: none"> 中間テスト 期末テスト 会話テスト パフォーマンステスト 単元テスト
	10月	<ul style="list-style-type: none"> Unit 6 Research Your Topic Let's Talk 4 買い物 	<ul style="list-style-type: none"> 身近なトピックを通して、調査や発表の効果的なやり方について考える。 身近なことについて、特徴を比較しながら説明することができる。 自分の好みや要望を伝えながら買い物をすることができる。 		
	11月	<ul style="list-style-type: none"> Stage Activity 2 Research and Presentation Let's Read 2 A Glass of Milk 	<ul style="list-style-type: none"> クラスで人気のあるものを調べて、その結果を発表することができる。 物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。 		
	12月	<ul style="list-style-type: none"> Let's Listen 6 商品のコマーシャル 	<ul style="list-style-type: none"> 商品のコマーシャルを聞き、商品の長所を聞き取ることができる。 		
第3学期	1月	<ul style="list-style-type: none"> Unit 7 World Heritage Sites Let's Talk 5 電話でのやり取り Let's Listen 7 店内のアナウンス 	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産の特徴について知り、その特別な価値について考える。 各地の世界遺産を紹介することができる。 自分の好みや要望を伝えながら電話で用件を伝えることができる。 店内のアナウンスを聞き、イベントなどの情報を聞き取ることができる。 	20 時間	<ul style="list-style-type: none"> 中間テスト 期末テスト 会話テスト パフォーマンステスト 単元テスト
	2月	<ul style="list-style-type: none"> Stage Activity 3 My Favorite Place in Our Town Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の町のおすすめの場所について書き、相手にその場所の特徴やよい点を伝えることができる。 人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。 		

3 評価について

観点	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した言語材料の特徴やきまりを理解している。 ・実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間テスト ・期末テスト ・パフォーマンステスト（会話テスト） ・単元テスト ・小テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間テスト ・期末テスト ・会話テスト ・パフォーマンステスト（会話テスト） ・単元テスト ・小テスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやり取りしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の課題解決に向けた取り組み ・パフォーマンステスト（会話テスト）

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

中学校の学習では、予習・復習がとても大切です。英語が得意だという人は、家庭で予習を行い、授業で復習するスタイルの家庭学習が理想だと思います。反対に、英語が苦手だという人は、その日のうちに家庭で復習するスタイルの家庭学習が理想だと思います。どちらが自分に合っているかを考え、実践してみてください。

5 教材等について

- ①教科書（New Horizon English Course 2）
- ②ノート（4線のもの）
- ③ワーク（ジョイフルワーク）
- ④ファイル（1年生の時に使っていたものでもOK）

※授業でタブレットPCを使用する時は、事前にお知らせします。